

第 3 回開設準備検討会における主な意見

1 議題 「県立高校再編の実施計画における新高校の開設準備について」

2 主な意見・・・「新高校 4 校の開設準備に係る基本的な考え方(案)」について

(1) 前文及び高校再編に係る学習活動や学校行事、部活動等に関すること

- ① 前文に、本県の高校教育の一層の充実を図るために実施することなど、今回の高校再編の趣旨が明記されたことは、非常に意義があると思う。
- ② 第 1 段落は、検討会での「両校のよい点をできるだけ活かした形で継承してほしい」との意見にも通じる表現になっており、適切である。
- ③ 今回の再編統合では、新高校には学科やコースのみならず特色ある部活動も継承されるので、第 2 段落では、部活動にも踏み込んだ記載がされたことは非常に良いことだと思う。部活動の面で中学生諸君が期待感を持って進路選択ができる良い表現になっている。
- ④ 再編統合の移行期において、再編対象校の在校生が減少していくことによって学習活動や学校行事、部活動に支障が生じることを心配する意見が、多数の委員からも学校関係者からも聞かれた。第 3 段落では、こうしたことへの教員配置等の配慮の必要性がしっかりと丁寧に書かれてあるので、非常に良いと思う。
- ⑤ 中学生やその保護者に、この高校再編の概要を周知することは大切なので、開設準備室から情報提供に努めていくという、第 4 段落の記載も良いと感じる。

(2) 新高校の名称、校歌、校章等に関すること

- ① 非常に簡潔な文章ながら、これまでの検討会での議論のエッセンスが全て取り込まれた的確な表現であると思う。

- ② 本県の全日制県立高校の校名には、中央農業高校を除いて、所在する地域が分かるという傾向がある。こうした傾向に沿って、第1段落で、「所在する地域がわかること」、「親しみやすく、わかりやすいこと」の2点を示しているが、これは校名を考える上での考え方の基本であり、適切だと思う。
- ③ 第1段落の「名称の変遷」という言葉は、1市に複数の高校が存在する場合の県立高校の名称が、東西南北等の位置を示す言葉が加えられている流れを踏まえているものだと思う。このことにより、「所在する地域がわかること」、「親しみやすく、わかりやすいこと」という表現がぐっと現実的になる。
- ④ 第2段落は、第1段落を受けてより具体的な方向性が示されており、理解しやすくなっている。新高校の名称は、県全体として調和の取れた違和感のないものに落ち着いていけばよいと思う。学校所在地の市町名や長年親しんできた地域名が入った校名は、中学生にとってわかりやすく、また、親しみやすい身近なものになっていくと思う。
- ⑤ 第2段落では、学校の所在地の市町名に「位置を加える」としており、第1段落の趣旨と連動した、非常に具体的でわかりやすい表現になっている。
- ⑥ 新高校の校歌や校章等については、メモリアル整備も含め、全てを総合的に検討し、対応していくことが望ましいので、第3段落の記載のとおりでよいと思う。
- ⑦ 校歌、校章などの具体的な議論については、これまでの検討会での意見も踏まえ、「伝統の継承」も考えるべきだと思うので、第3段落は、「伝統の継承を踏まえ、総合的に検討していく」という表現にしてほしい。
- ※ この意見を受け、「基本的な考え方」の原案の「メモリアルの整備等も含め、総合的に検討していくことが望ましい。」を「メモリアルの整備等伝統の継承も踏まえ、総合的に検討していくことが望ましい。」に修正した。

(3) 会長まとめから

- ① 熱心に検討、協議していただき、本日、「基本的な考え方」を取りまとめることができ、本検討会も一つの区切りがついた。
- ② 今後、教育委員会では、「基本的な考え方」を踏まえて、新高校の開設準備を一層進めていただきたい。